

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月15日

上場会社名 Delta-Fly Pharma株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4598 URL https://www.delta-flypharma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江島 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 黒滝 健一 (TEL) 03(6231)1278
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	—	—	△1,403	—	△1,426	—	△1,429	—
2023年3月期	—	△100.0	△1,315	—	△1,325	—	△1,328	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△198.78	—	△141.4	△119.9	—
2023年3月期	△234.51	—	△131.5	△118.8	—

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,474	1,232	83.6	149.69
2023年3月期	906	791	87.0	123.91

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,231百万円 2023年3月期 789百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△1,279	0	1,853	1,417
2023年3月期	△1,303	△0	882	844

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	△1,817	—	△1,827	—	△1,829	—	△222.34

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	8,229,900 株	2023年3月期	6,369,600 株
2024年3月期	198 株	2023年3月期	198 株
2024年3月期	7,190,965 株	2023年3月期	5,666,266 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、コロナ禍を脱し社会経済活動の正常化が進み、国内の行動制限解除による経済活動の改善、インバウンド消費の拡大や大手企業を中心とした賃上げをはじめとした雇用、所得環境の改善や日経平均株価も34年ぶりの最高値を更新するなど、回復傾向がみられました。しかし、ロシア・ウクライナや中東地域をめぐる情勢不安、国内における円安によるコスト負担増加や能登半島地震等の自然災害の影響もあり、地政学的リスクの長期化、インフレ抑制に向けた各国での金融引き締めの影響等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社では、がん患者の高齢化による治療への懸念や新薬の高額化による費用負担増加への不安が進む中、経済的にも安心して家族のがん患者にも勧められる治療法を提供することを目指して、「モジュール創薬」に基づく研究開発に取り組み、各パイプラインの臨床開発を前進させました。

抗がん剤候補化合物DFP-10917は、米国における臨床第3相試験の症例登録を2023年5月中旬に中間解析目標の150症例の登録が完了し、中間解析データの集計・解析や長期生存患者のフォローアップを継続しています。また、日本におけるライセンスパートナーの日本新薬(株)が国内の臨床第1相試験の症例登録を進めています。抗がん剤候補化合物DFP-14323は国内における臨床第3相試験を開始すべく準備を進めております。抗がん剤候補化合物DFP-17729は国内における臨床第1/2相試験の解析を進め、次試験の検討・準備をしております。抗がん剤候補化合物DFP-11207は治験薬の製造を行い、次試験の開始に向けて日本での実施の検討を継続しております。抗がん剤候補化合物DFP-14927は、米国において臨床第1相試験を継続しており、次段階へ進める準備をしております。また、抗がん剤候補化合物DFP-10825は前臨床試験を完了し、臨床第1相試験の開始に向けた検討・準備をしております。

以上の結果、当事業年度におけるマイルストーン収入等はなく、事業収益はありませんでした(前事業年度比-%)。事業費用につきましては、開発パイプラインの臨床試験における医療機関並びに症例数の増加、次試験に向けた治験薬となる原薬や製剤の製造などを進めたことなどに伴い、1,403百万円(前事業年度比6.7%増)となりました。この結果、営業損失は1,403百万円(前事業年度は1,315百万円の損失)、経常損失は1,426百万円(前事業年度は1,325百万円の損失)、当期純損失は1,429百万円(前事業年度は1,328百万円の損失)となりました。

なお、当社は医薬品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績を記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末比567百万円増加し、1,474百万円となりました。これは主に、現金及び預金が572百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末比125百万円増加し、241百万円となりました。これは主に、未払金が117百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末比441百万円増加し、1,232百万円となりました。これは主に、第三者割当による新株式発行で資本金及び資本剰余金がそれぞれ250百万円、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ686百万円増加したものの、当期純損失の計上により利益剰余金が1,429百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末比572百万円増加し、1,417百万円となりました。当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動に使用した資金は1,279百万円(前事業年度は1,303百万円の支出)となりました。これは主に、税引前当期純損失1,426百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果得られた資金は0百万円(前事業年度は0百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果得られた資金は1,853百万円(前事業年度は882百万円の収入)となりました。これは主に、第三者割当による株式の発行による収入498百万円及び新株予約権の行使による株式の発行による収入1,350百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	98.2	95.1	96.1	87.0	83.6
時価ベースの自己資本比率(%)	162.7	340.6	523.8	723.5	470.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 2020年3月期から2024年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

a. 事業収益

次期の事業収益は、ライセンス契約締結に向けマイルストーン対価等を目指してまいります。前事業年度の実績を踏まえ、現段階では見込んでおりません。

当社はモジュール創薬により抗がん剤の新薬開発を行う研究開発先行型のバイオベンチャー企業です。現時点で上市された製品はありませんが、DFP-10917は日本新薬㈱と、また、DFP-17729及びDFP-14323は日本ケミファ㈱とライセンス契約を締結しており、それぞれ契約の開始段階における契約一時金等を収受しているとともに、今後のパイプラインの進捗に応じて、マイルストーン対価による収益が期待されます。また、米国で臨床第3相試験を実施しているDFP-10917や、複数の抗がん剤候補化合物の臨床試験が進んでおり、新しいパートナーとの提携による契約一時金等の収益も期待されます。しかしながら、臨床試験の進捗状況及びライセンス交渉の不確実性を考慮すると、単年度業績予想においては、現段階で期待されるすべてのマイルストーン対価並びに契約一時金等を計上することは適切でないと考えており、今後、収益が確実になった段階で適時に見通しを明らかにしていく予定です。

○参考：創薬系バイオベンチャー企業について(東京証券取引所)

<https://www.jpx.co.jp/listing/others/risk-info/tvdivq0000001rss-att/cg27su00000032aa.pdf>

b. 事業費用

次期の事業費用は、当事業年度比413百万円増額の1,817百万円を見込んでおります。

当社は、次期において、DFP-10917は米国における臨床第3相試験の中間解析データの集計・解析や長期生存患者のフォローアップを継続する予定です。また、新たにベネトクラクス治療前歴のある急性骨髄性白血病の患者を対象に、米国においてDFP-10917とベネトクラクスの併用療法の臨床第1/2相試験を開始する予定です。DFP-14927の米国における臨床第1相試験を完了し、拡大試験に移行する予定です。DFP-14323は国内における臨床第3相試験(大規模比較試験)を開始すべく準備を進める予定です。また、DFP-17729は、国内における臨床第1/2相試験の解析を進め、次試験の検討・準備を進める予定です。これらの開発パイプラインを着実に進めるため、研究開発費は増額の見込みです。

以上により、通期の業績予想は、前事業年度と同様に事業収益は見込まず、営業損失1,817百万円(前事業年度は1,403百万円の損失)、経常損失1,827百万円(前事業年度は1,426百万円の損失)、当期純損失1,829百万円(前事業年度は1,429百万円の損失)としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,341	1,417,062
前払費用	3,231	2,611
その他	18,644	13,257
流動資産合計	866,217	1,432,931
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,758	27,758
減価償却累計額	△6,115	△7,007
建物(純額)	21,643	20,751
構築物	1,724	1,724
減価償却累計額	△740	△933
構築物(純額)	984	791
工具、器具及び備品	3,538	4,671
減価償却累計額	△2,976	△3,404
工具、器具及び備品(純額)	562	1,267
土地	15,432	15,432
有形固定資産合計	38,621	38,242
投資その他の資産		
差入保証金	1,973	1,973
長期前払費用	—	1,002
その他	5	5
投資その他の資産合計	1,978	2,980
固定資産合計	40,600	41,223
資産合計	906,817	1,474,155

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	89,866	207,070
未払法人税等	23,704	31,131
預り金	2,047	3,296
流動負債合計	115,619	241,498
負債合計	115,619	241,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,795,146	4,731,185
資本剰余金		
資本準備金	3,775,146	4,711,185
資本剰余金合計	3,775,146	4,711,185
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△6,780,732	△8,210,125
利益剰余金合計	△6,780,732	△8,210,125
自己株式	△337	△337
株主資本合計	789,223	1,231,906
新株予約権	1,975	750
純資産合計	791,198	1,232,656
負債純資産合計	906,817	1,474,155

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
事業収益	—	—
事業費用		
研究開発費	1,011,826	1,118,615
その他の販売費及び一般管理費	303,983	284,848
事業費用合計	1,315,810	1,403,464
営業損失(△)	△1,315,810	△1,403,464
営業外収益		
受取利息	13	14
その他	32	1
営業外収益合計	45	16
営業外費用		
為替差損	5,787	5,786
株式交付費	4,207	17,656
営業外費用合計	9,995	23,443
経常損失(△)	△1,325,760	△1,426,891
税引前当期純損失(△)	△1,325,760	△1,426,891
法人税、住民税及び事業税	3,028	2,502
法人税等合計	3,028	2,502
当期純損失(△)	△1,328,788	△1,429,393

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	3,352,327	3,332,327	3,332,327	△5,451,943	△5,451,943
当期変動額					
新株の発行(新株予 約権の行使)	442,819	442,819	442,819		
当期純損失(△)				△1,328,788	△1,328,788
自己株式の取得					
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計	442,819	442,819	442,819	△1,328,788	△1,328,788
当期末残高	3,795,146	3,775,146	3,775,146	△6,780,732	△6,780,732

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計		
当期首残高	△300	1,232,411	750	1,233,161
当期変動額				
新株の発行(新株予 約権の行使)		885,638		885,638
当期純損失(△)		△1,328,788		△1,328,788
自己株式の取得	△37	△37		△37
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			1,225	1,225
当期変動額合計	△37	△443,188	1,225	△441,963
当期末残高	△337	789,223	1,975	791,198

当事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	3,795,146	3,775,146	3,775,146	△6,780,732	△6,780,732
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	686,034	686,034	686,034		
新株の発行(第三者割当増資)	250,004	250,004	250,004		
当期純損失(△)				△1,429,393	△1,429,393
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	936,038	936,038	936,038	△1,429,393	△1,429,393
当期末残高	4,731,185	4,711,185	4,711,185	△8,210,125	△8,210,125

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△337	789,223	1,975	791,198
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)		1,372,068		1,372,068
新株の発行(第三者割当増資)		500,008		500,008
当期純損失(△)		△1,429,393		△1,429,393
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1,225	△1,225
当期変動額合計	—	442,683	△1,225	441,458
当期末残高	△337	1,231,906	750	1,232,656

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△1,325,760	△1,426,891
減価償却費	1,632	1,512
受取利息	△13	△14
為替差損益(△は益)	3,392	1,065
株式交付費	4,207	17,656
未払金の増減額(△は減少)	20,523	117,204
預り金の増減額(△は減少)	86	1,248
その他	△3,897	11,091
小計	△1,299,827	△1,277,127
利息の受取額	13	14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,234	△2,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,303,049	△1,279,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△321	△1,132
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,339
その他	△5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326	207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	400,000	—
社債の償還による支出	△400,000	—
第三者割当増資による収入	—	498,832
新株予約権の行使による株式の発行による収入	878,681	1,350,647
新株予約権の発行による収入	3,974	3,715
自己株式の取得による支出	△37	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	882,617	1,853,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,392	△1,065
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△424,150	572,721
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,492	844,341
現金及び現金同等物の期末残高	844,341	1,417,062

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	123円91銭	149円69銭
1株当たり当期純損失	234円51銭	198円78銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純損失(千円)	1,328,788	1,429,393
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(千円)	1,328,788	1,429,393
普通株式の期中平均株式数(株)	5,666,266	7,190,965
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第3回新株予約権(新株予約権の数 750個) 第6回新株予約権(新株予約権の数 3,500個)	第3回新株予約権(新株予約権の数 750個)